

平成 27 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2015

Date: 2016 年 3 月

日本語・日本文化専攻長 殿

To Dean of Studies in Japanese Language and Culture

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・教授
氏名 Name	岸田泰浩
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	コーカサス地域の言語研究 明証性の通言語的研究、格助詞の類型論的・歴史的研究
--	---

言語事象の普遍性を探求する類型論の立場から言語間に観察される類似点や相違点を整理しながら、対象言語の文法構造についての比較研究を多角的に実施した。

アルメニア語の e-ラーニング教材の開発を継続していくなかで、ソフト面でどのようなコンテンツが必要であるかに焦点をあてながら、教材の部品となる資料（画像、文書等）を収集し、整理を行っている。電子版学習辞典については、データ入力も継続しておこない、e-ラーニングにおける部品として活用するためには、どのような形態が適切であるかにも留意しながら、その収録語彙数および記載内容を充実させた。

最近の研究テーマである「明証性」(evidentiality)に関する考察をさらに続けるために、既存の文献（文法書・語学書を含む）を利用しながら言語データの収集に努めた。長年の研究テーマである「格」に関しては、日本語のガ格を扱うのみではなく、他の格にも観察を及ぼせ、形態と統語との相関へと視野を広げた考察を行い、3月にユーラシア言語研究コンソーシアム年次総会において「属格」に関する発表を行った。